

応仁の乱と戦国大名

今日の問い

応仁の乱の後、社会はどのように変わり、だれが力を持つようになったのだろう。

左の問いに答えるつもりで、右のノートの下線に語句を書こう。最後に「まとめ」で今日の問いに答えよう。

問い・キーワード

ノート 下線に語句を書こう

1 応仁の乱はなぜ起こり、どうなったか。

あとつぎ問題→応仁の乱→下剋上

8代将軍の足利義政のころ、あとつぎ問題と守護大名の対立から、1467年に

¹ 応仁の乱 が起こり、京都は焼け野原となった。実力のある者が上の者に打ち勝つ ² 下剋上 の風潮が広がり、 ³ 戦国大名 が各地に現れて独自の法律である ⁴ 分国法 を定めた。

2 都市はどのように発展したか。

堺・博多・町衆

港町の堺や博多では、商人たちが自治を行った。堺は ⁵ 会合衆 とよばれる商人たちの話し合いで運営された。京都では、裕福な商工業者である ⁶ 町衆 が自治の力を持ち、応仁の乱で中断した ⁷ 祇園祭 を復興させた。

年表 — この単元のできごと

1467

応仁の乱が起こる

1477

応仁の乱が終わる

まとめ

今日の問いに答えよう。「応仁の乱」「下剋上」の2語を使って、2文で書きなさい。

(例)将軍のあとつぎ問題と守護大名の対立から1467年に応仁の乱が起こり、下剋上の風潮が広がった。実力のある戦国大名が各地に現れ、堺や京都では商人たちが自治を行った。

☐ 応仁の乱の原因を説明できる ☐ 戦国大名の特徴を言える ☐ 自治都市の例を2つ言える

できた

/ 7



chiritsumo-drill.com
ほかの プリントは こちら



ちりつもドリル

学校・家庭・塾・教室での印刷と配布は自由です。ウェブへの掲載・販売はできません。

1 / 1

G7-REKI-OUNIN-NOTE-01-A